

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	横浜高速鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	776 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	駅	番線	
エレベーター	駅	基	
エスカレーター	駅	基	
スロープ	駅	ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅	番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅	番線	
バリアフリートイレ	1 駅	1 ヶ所	新高島駅
車両のフリースペース	編成	両	
その他		駅	
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	674 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	405	269	0
備考			

本年度までの累計整備費	3,342 百万円
本年度までの累計徴収額	2,006 百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	駅	基		百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリートイレ	1 駅	1 ヶ所	新高島駅	212 百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他		駅		百万円
備考				
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	3 駅	6 基	横浜駅(新規) 馬車道駅(新規) 元町・中華街駅(新規)	306 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他		2 駅		45 百万円
備考	※ その他は、横浜駅エスカレーターの部分更新、新高島駅の触知案内盤の更新			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費	212		百万円	
収受システム改修費			百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	2		百万円	
備考	※ 維持管理費は、ホームドア、エレベーター、エスカレーター、バリアフリートイレ、定位置停止装置及び行先表示器等の維持管理			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	2番線	100%	駅	%	駅	%
2022年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
2023年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
2024年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
2025年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
累計	2番線	100%	駅	%	駅	%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。